

あなたの
笑顔と
看護を
育てる

2025年度

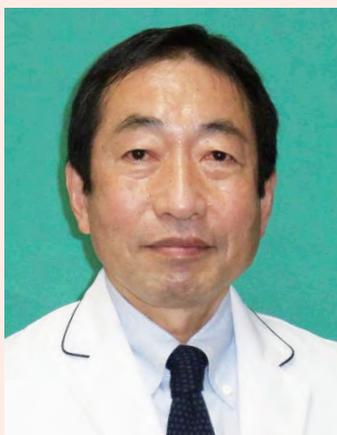
看護職員募集要項



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO 札幌北辰病院

当院は、地域に根ざし、地域を想い、
地域から信頼され、
愛される病院づくりを実践します。



院長
小池 雅彦

札幌北辰病院の歴史は1893年に関場不二彦が関場医院を開設し、その後北辰病院と改称したことが始まりで、ちょうど開業130年となりました。北海道大学病院が開業102年ですから、札幌北辰病院が如何に伝統のある病院であることがわかつています。

病院名の北辰というのは北極星を意味しています。当院が常に地域住民にとっての指針となるようにとの願いが込められた病院名であると思っています。

当院の理念は「地域に根ざし、地域を想い、地域から信頼され、愛される病院づくりを

実践する」ことです。当院は地域医療支援病院や北海道がん診療連携病院などの指定を受けており、25の診療科を持ち、年間1700台以上の救急車を受け入れている急性期病院ですが、地域に根ざす医療を目的に2017年より地域包括ケア病棟も開設しています。

世界で最も高齢化の進んだ日本ですが、当院は高齢者も安心して医療が受けられるようにチームで患者さんを診る体制を構築し、外部からの評価も受けています。

当院は新札幌の地に移転して33年が経過しました。病院は少し古びてきましたが、



大切に使用されています。そして、今年度はMRIの更新、病院機能評価の受審、来年度は電子カルテの更新、さらに、令和7年度には健康管理センターの新築を予定しており、病院を改善していく努力を続けています。健康管理センターには内視鏡センターや外来化学療法センターも併設され、当院の今後の方向性を示すものとなるはずですが。

しかし、病院は器ではなく、その中で働く職員が一丸となって患者さんのため、地域のために働くことが大切です。我々のチームに一人でも多くの看護師さんが加わってくれて、さらに強力なチームを作ってくれることを願っています。

《基本方針》

- 1、私たちは、独立行政法人地域医療機能推進機構の目的と使命に則り、地域との連携に努め、地域の人々に対する医療・保健・福祉の向上に貢献します
- 2、私たちは、医療に関わる安全管理に最大限の努力を払い、根拠に基づいた良質で安心できる医療を提供します
- 3、私たちは、医療技術の専門性を常に研鑽し、医療水準の向上と、次代を担う医療従事者の育成に努めます
- 4、私たちは、病める人々の権利の擁護とプライバシーの保護に努めます

《病院の概要》

◆ 許可病床数 / 276床

◆ 診療科 / 23診療科

- 総合診療科
- 糖尿病内科
- 腎臓内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 血液内科
- 腫瘍内科
- リウマチ科
- 小児科
- 外科・乳腺外科・消化器外科
- 整形外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線診断科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 病理診断科

(2023年4月現在)

◆ 看護部の紹介

	部 署	診 療 科	特 徴
5 F	5階西 ナースステーション	・外科 ・泌尿器科 ・耳鼻咽喉科	手術を受ける患者様の看護を中心に、化学療法や終末期の看護を実践しています。退院に際しては、退院後の生活がスムーズにいくようソーシャルワーカーと連携し、不安なく退院が迎えらるよう退院調整を行なっています。
4 F	4階西 ナースステーション	・循環器内科 ・呼吸器内科 ・皮膚科 ・腎臓内科	日常生活管理をサポートできるような患者様とご家族を含めて、看護計画を立案し実践しています。ペースメーカー植え込み術、心臓カテーテル検査など重症度の高い患者様を中心にハイリスクの看護ケアを実践しています。
	4階東 ナースステーション	・消化器内科 ・血液内科 ・糖尿病内科	消化器疾患の検査から治療を一貫して行なっています。終末期の患者様に対して緩和医療チームと連携し、疼痛コントロールや終末期への療養支援を行なっています。
3 F	3階西 ナースステーション	・小児科 ・総合診療科 ・眼科	小児と成人の混合病棟です。小児科は急性期の疾患が主ですが、短い入院期間の中で子どもたちとのふれあいを大切にしています。また、成人は急性期病棟で、手術・保存治療をメインに行なっています。
	3階東 ナースステーション	・地域包括 ケア病棟	治療を終えた患者様を受け入れ、疾患ではなく患者様やご家族の価値観や退院後の生活への思いを中心に支援し退院できる看護を行なっています。
	腎・透析センター (28床)		地域のセンター病院として、他院から紹介された患者様はもちろん、新たに透析開始となる患者様の導入期の治療、看護ケア、生活支援などを行なっています。患者様向け「いきいき透析ライフ」の院内新聞を発行したり、ご家族も参加できる「透析教室」の企画・運営を行なっています。
2 F	手術・材料部		開腹術中心とした臨時・緊急の手術にも対応しています。手術を担当する麻酔科医師・担当看護師は術前訪問を行い、安心して入室できるよう、疑問点や心配な点、ご希望などにお応えしています。また、医療材料の滅菌・回収・供給を行い、院内巡視で適正な定数管理をしています。
	健康管理センター		ご利用いただいた方や事業所の皆さまの健康管理に貢献しています。健診活動を通して受診された方が、自らの健康を意識して生活習慣を組み立てるための支援を行なっています。特定保健指導を実践し、その成果を研究発表しています。
1 F	外来 (患者総合サポートセンター)		各診療科の他、乳腺外来、ストーマ外来、リンパ浮腫ケア外来、禁煙外来、セカンドオピニオン外来など細分化された専門外来を設けています。がん化学療法患者様にプライマリー制度を導入し、質の高い看護を目指しています。
	特殊診療部 (内視鏡室 放射線部)		内視鏡検査(胃カメラ・大腸カメラ・逆行性胆管造影検査・ペグなど)、冠動脈造影検査やペースメーカー植え込み・IVH・MRI・RI・CTの検査などを行なっています。臨時・緊急時に迅速に対応し、安心して検査が受けられる看護を実践しています。

◆ 職員数 421名 (2023年11月現在)

- 保健師 3名
- 看護師 207名 (内非常勤看護師18名)
- 看護補助者 15名
- 看護事務 6名
- 医師 68名
- 医療技術職 76名
- 技能職 3名
- 事務職 42名
- 保育士 1名

看護部紹介

ごあいさつ

看護部長 伊藤 早苗

札幌北辰病院は、病院の理念、看護部の理念のもと、地域住民がその人らしく、安心して生活できるように健康と暮らしを守る視点でケアを提供しております。

また、提供する看護は、より質の高い、安全で心のこもったものでありたいと考え、そのような看護提供ができる人材の確保と育成に力を入れています。さらに、院内外が多職種と連携し、職種に応じた専門性を活かしたチーム医療を提供するために、組織横断的に看護実践できるスタッフの育成にも取り組んでいます。

教育体制として、新卒看護職員は、卒後臨床研修制度を導入しています。また、卒後2年目以降は、キャリアラダー制度で実践能力の獲得を支援し、専門性を高めることや、看護管理能力の獲得ができるようにプログラムを組んでおります。

それから、ワークライフバランスも考えたサポートも大事にしております。具体的には、個々のライフサイクルに合わせた勤務環境を考慮し、新卒看護師、子育て中のパパ・ママ看護師、定年退職後のプラチナ看護師など、様々な年代の看護師が、お互いの力を活かしながら働くことができるように努めています。JCHOグループのスケールメリットを活かして、専門性を向上させる機会や転勤制度もあります。

私たちと一緒に学び、看護をしていただける方をお待ちしています。

看護部理念

専門職としての自覚と責任をもとに広い視野と思いやりの心を持ち、1人ひとりの人間性を尊重した看護を提供します

看護部運営方針

1. 病院の理念に基づき、社会の要請に応じた看護を提供する
2. 看護職員として自ら研鑽し、広い視野を持ち豊かな人間性を目指す

看護教育理念

JCHO札幌北辰病院および看護部の理念に基づき、質の高い看護サービスを提供できる看護職員を育成する。さらに、看護実践を通して自ら努力し、主体的に自分の能力を開発し、発揮できるように支援する

看護部教育目標

1. 看護実践能力に基づいた看護過程の展開ができるように、臨床実践・教育に必要な学習の機会を提供する
2. それぞれの役割に応じた能力や看護実践を通して常に自己成長を目指し、自立して思考し、行動できる能力の育成・開発をする
3. 地域住民の多様なニーズを把握し、住みなれた地域での療養生活を支えるため、リーダーシップを発揮し関連する施設や多職種を統合したケアを提供できるように育成する。

当院の看護職に期待するもの

地域の皆様の健康をサポートする看護職

札幌市厚別区の中核病院として、地域医療支援病院の承認を受けています。

学び続ける看護職

医療制度改革をはじめ、福祉や看護領域の情報と技術導入に敏感に対応し、専門職として誇りをもって自発的に学ぶ人材であること。

思いやりのある看護職

来院された皆様は、何を求め、看護サービスに何を期待しているのか常に考えて行動する「患者様中心の医療」の実践。

給与条件・待遇等

1. 給与について

給与は、独立行政法人 地域医療機能推進機構職員給与規程により支給されます。

- (基本給) 看護師 大学卒 213,200円
短大・専門学校卒(3年) 204,900円
短大・専門学校卒(2年) 197,000円

※上記基本給に地域手当3%が加算されます。

※既卒者につきましては、職歴などに基づいて基本給を決定します。

- (昇給) 毎年1回、1月に勤務成績に応じて昇給します。
- (諸手当) 条件に応じて、下記の手当などが支給となります。
夜間看護等手当、夜勤手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、寒冷地手当、賞与(夏・冬2回、当院規定による)、年度末賞与(医業収支が良好な病院に支給)、時間外勤務手当 等

2. 勤務時間

- (1) 4週155時間勤務(4週8休 体制) 週38.75時間勤務
- (2) 2交替制

3. 休日

週休2日制、他に国民の祝日、年末年始(12月29日~1月3日)の休日があります。

※国民の祝日、年末年始に勤務した場合は、振替休日または休日給を支給します。

4. 休暇など

- (1) 年次休暇(年20日、繰り越し日数最高20日)
- (2) 病気休暇
- (3) 特別休暇
夏季休暇3日、結婚休暇、出産休暇、配偶者の出産休暇、介護休暇、その他(子の看護休暇、忌引、災害被災時 等)
- (4) 育児休業
子が3歳に達する日まで取得可能です。
- (5) その他
小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員等の早出遅出勤務、深夜勤務制限等の措置があります。

5. 福利厚生

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、退職金(勤続1年以上に支給します)

6. その他

常勤職員として採用後、本人のキャリアアップ、人材育成および家庭環境などに配慮し、地域医療機能推進機構内の各病院へ転勤の希望も可能です。

2023年4月1日現在

採用試験要項

1. 採用職種

看護師

2. 採用者数

20名から30名を予定しています。既卒の方も大いに歓迎です。

3. 採用試験日程

	採用試験日
第1回	2024年5~6月頃
第2回	2024年7月頃

※日程については決まり次第ホームページでご案内します。
右のQRコードからご確認ください。

4. 応募書類

- (1) 履歴書
(当院指定 ※ホームページからダウンロード可能)
- (2) 学歴に関する証明書
・在学者 卒業見込証明書、成績証明書
・既卒者 卒業証書写しまたは卒業証明書原本、成績証明書
- (3) 免許証写し(応募職種に限らず、看護関連は全て提出)

5. 採用試験科目

- (1) 小論文
- (2) 面接

6. 応募先・問合わせ先

JCHO札幌北辰病院
看護部



病院
代表電話

☎ 011-893-3000

E-mail

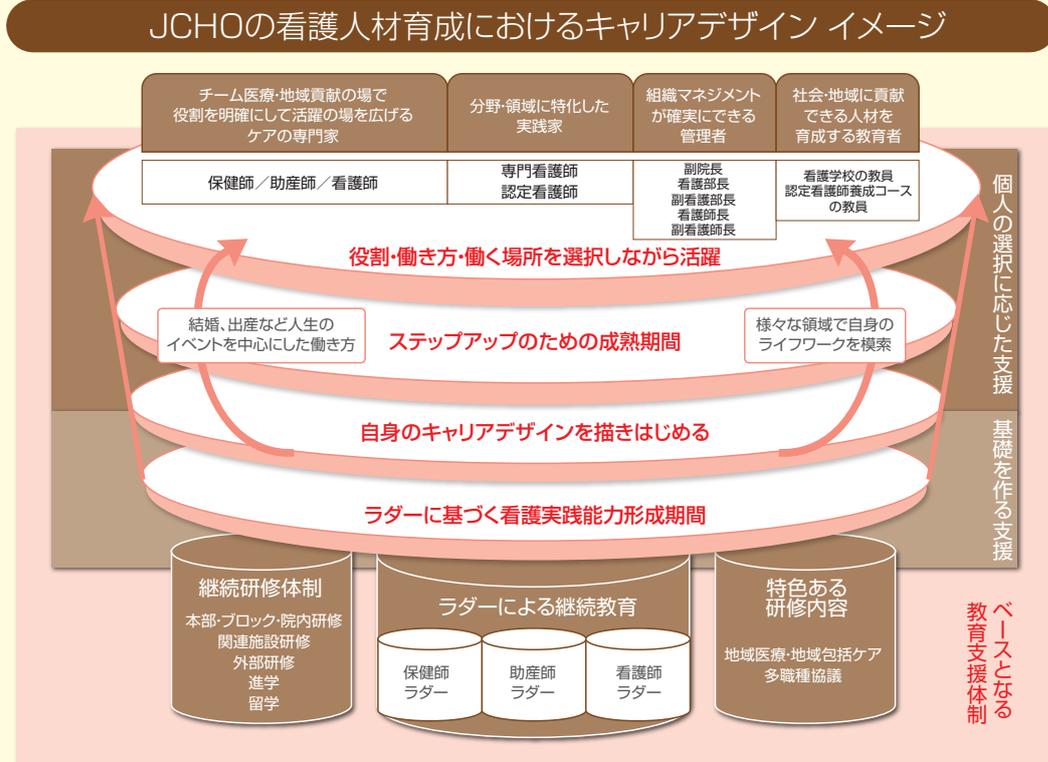
kikaku@hokushin.jcho.go.jp

住所

〒004-8618
札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2番1号

看護部 研修体制

卒後 継続教育



e-ラーニングを導入しています！

「いつでも、どこでも、誰もが」

パソコン、タブレット、スマートフォンで受講できます。

研修テーマの
一部を抜粋

- 心電図への苦手意識をなくそう
- 排泄ケアにおける感染予防
- 患者様のQOL向上につながる排尿自立のエッセンス
- 新人看護師のあなたが知っておきたい急変対応
- セルフケアの力を引き出す糖尿病看護
- 認知症患者に対するアセスメントとケア

- 理論とエビデンスに基づいた最新の看護知識を学べます。
- 看護基本技術を身につけるために、動画で繰り返し学習できます。

e-ラーニングはどのように活用しています。



研修前に予習



集合研修で受講中



スマホやタブレットで



さあ！実践！！

特定行為研修

看護師の「特定行為研修」

JCHOでは、地域の現場で、看護師が「治療」と「生活」の両面から、患者様の状態に応じて迅速かつ適切な対応ができるよう、2017年度から看護師の「特定行為研修」を実施しています。「特定行為」とは、診療の補助のうち、高度で専門的な知識・技能などを有する行為であり、研修を修了した看護師が手順書に基づき行うことができます。

当院においては6区分の「特定行為研修」を実施しております。

リーダー レベル I

- JCHOおよび自施設の理念と使命を理解し、組織の一員としての自覚を持って行動する
- 基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得て看護を実践する
- 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる

リーダー レベル II

- 組織の一員としての役割を理解し、所属部署の目標を意識して行動する
- 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
- 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる

リーダー レベル III

- 所属部署の目標達成に向けて主体的に実践する
- ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
- 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる

リーダー レベル IV

- 自施設の目標達成に向けて主体的に実践する
- 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
- 自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究的に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる

リーダー レベル V

- 自施設の目標達成に向けて組織改革に必要な建設的意見を提案でき、具体策を主体的に実践する
- より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し QOLを高めるための看護を実践する
- 単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる
- 主となり研究活動を実践できる
- 看護単位における教育的役割がとれる

※令和5年度は、看護職キャリアラダーI～Vに適応した院内研修を企画

2023年度の院内研修

事例検討

フォローアップ

リーダーシップ

プリセプターシップ

倫理

がん看護

災害看護

問題解決技法

退院支援

在宅療養支援

など

卒後臨床研修



清潔操作



心電図操作



健康管理を考える

集合研修(月1回の研修)

- 日常生活援助
- 電子カルテと個人情報
- 看護記録について
- 感染防止対策
- 注射・採血時の看護
- 看護倫理
- 呼吸を整える看護
- 排泄の援助
- 感染予防技術
- 創傷措置とドレナージ・チューブの管理
- 心電図モニターの知識・技術
- 自身の健康管理
- 輸血と与薬時の看護
- 職業性健康障害の予防

4月
April

5月
May

6月
June

7月
July

8月
August

9月
September

配属部署

- 看護師と社会人1年生の同時スタート!
- 自分の部署で日勤業務をプリセプターと一緒に実践します。
- 新入職員研修(他職合同)
- 看護の24時間を体験する!
- 休日勤務や夜勤を先輩と一緒に体験します。
- 夜勤のオリエンテーションが始まる!
- 先輩と一緒に夜勤業務を実践します。(4人夜勤体制)
- 受け持ち患者様の看護計画を先輩と一緒に立案します。



採血トレーニング



チューブ管理



排泄援助

集合研修とローテーション研修 年間スケジュール

1年間の充実した新人教育で大きな成長が実感できます！

集合研修では新人同士の交流も楽しみ。学びの成果は定期的に評価し、確認し合います。



放射線部見学



輸血時の看護



シリンジポンプ操作

●ハンダーソンの
枠組と看護計画

●逝去時の援助
●看護必要度

●救急蘇生術

●災害発生時の看護
●人工呼吸器管理下の
看護

●シミュレーション研修

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March

ローテーション
研修2週間

配属部署

●日勤のルーティン
業務はほぼ一人で
実践します。
●不安は先輩の支援を
受けて！

●ローテーション研修2週間、手術・材料部へ
1週間と他病棟2週間
●自分の部署以外で看護経験の幅を
広がられます。

●できること、できないことを
看護基本技術に沿って先輩と評価する。
●1年間で看護技術104項目が「指導の
下にできたを80%」を目指します。

●1年を振り返り、2年目の
成長に向けて目標を考えます。
●成長した私は、
プロフェッショナルな看護師！
●新入職員研修修了式



新人看護師

各病棟の紹介

4階 西病棟



循環器内科・呼吸器内科・ 腎臓内科・皮膚科

循環器内科では、心不全や急性冠症候群で治療する患者様が多く、一日1~3件程の心臓カテーテル検査や治療を行っています。呼吸器内科では、肺がんや慢性肺疾患で治療を受ける患者様が入院しており、薬物療法や酸素療法などを受けています。腎臓内科は腎不全やネフローゼ症候群の患者様が入院しており血液透析導入やステロイドの治療を行っています。皮膚科は、蜂窩織炎や帯状疱疹で在宅治療が困難な患者様が入院し、洗浄や軟膏処置を行っています。

いずれも急性期における治療と慢性期における在宅に向けての関わりを学ぶ事ができます。専門的知識や技術を習得しながら患者様や家族に寄り添った看護が提供できるように取り組んでいます。

小児科・総合診療科・眼科

3階西病棟は新生児からご高齢の方まで幅広い年齢の方の看護を行っているのが特徴です。

小児科では夜間休日を問わず通院中や地域の連携病院から紹介を受けた小児の入院に対応しています。入院中は保育士と共同し季節のイベントや遊びの提供など小児科特有のかかわりができるのが特徴です。

総合診療科では近年の高齢化もあり、希望の生活の場に退院できるよう多職種との連携を密に行い、患者様の状態に合わせた退院調整・支援ができるよう日々取り組んでいます。

眼科では白内障や緑内障、網膜剥離などの手術を行っています。急性期・周手術期の病棟でもあり、経過が早いのも特徴ですが、患者様やご家族に寄り添った、丁寧な看護ができるようスタッフ一同元気いっぱい取り組んでいます。

3階 西病棟



3階 東病棟

地域包括ケア

リハビリの提供と退院調整をする病棟です。患者様は急性期病棟での治療が終了した後、もとの自分らしい生活ができるよう、看護師と作業療法士が協力しながら在宅復帰を目指します。認知症高齢の患者様へは、持てる力を発揮して穏やかに過ごすため、院内レクリエーションを企画し参加して頂いていましたが、ここ数年はコロナ禍の影響により中止しています。

また、看護師は院内外での多職種と協働し患者様、そのご家族が退院後に安心して生活して頂けるように、退院前の情報共有に努めています。

レスパイト入院も積極的に受け入れ、在宅療養の患者様と介護者のケアを担う努力をしています。



4階 東病棟



消化器内科・糖尿病内科・血液内科

消化器内科では、急性期・慢性期を問わず、検査や内視鏡治療、疼痛コントロール中心の診療と看護を実践しています。また、血液内科ではがん化学療法に力を注ぎ安全・安心な治療が受けられるよう日々取り組んでいます。

糖尿病内科は、インスリン導入や教育入院を実践し、上手に糖尿病と長く付き合っていけるような指導ができるよう取り組んでいます。

様々なニーズや思いに寄り添った看護ができるよう日々、努力しています。

外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科

5階西病棟は、外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科の混合病棟です。手術を受ける患者様、化学療法を受ける患者様が多い病棟です。患者様、ご家族が安心して治療が受けられるよう、安心して退院できるよう、日々の援助、退院支援に取り組んでいます。多職種と協働し、患者様の望む生活が送れるよう、患者様、ご家族の思いに寄り添っていただけるようスタッフ一丸となり努めています。

5階 西病棟



各部署の紹介



腎・透析センター

腎・透析センターでは月水金の午前・午後、火木土の午前の透析、腹膜透析の看護を行っています。外来維持患者様の透析が主ですが、透析導入や、地域の病院やクリニックなどから依頼され検査や手術のために入院された患者様の透析も行っています。また、腎代替療法選択支援を行い、患者様が不安なく治療を選択できるよう活動しています。

透析患者様も高齢化が進んでおり、自宅での自己管理や食事管理など困難な場面も多くなっています。他職種連携による個々の患者様に合わせた看護計画を立案し、指導を行うことで、長く透析に通って頂けるよう支援しています。さらに、特定行為看護師と協力して、安全で安心な透析看護を提供しています。

また、透析看護技術や腹膜透析について定期的に学習会を行い知識や技術の習得や更新に努めています。

健康管理センター

健康管理センターは病院と併設されており、一般・企業健診、特定健康診査、人間ドック及び各種がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん）等で年間約1万6千人の地域の皆様にご利用いただいています。平日はお仕事や育児で忙しい方でも健康診断を受けることができるよう、毎月、土曜日にも健診を実施しています。土曜日に胃カメラ検査が受けられる健診施設として、大変多くの方からご好評いただいております。

人間ドック学会の定める人間ドック健診施設機能評価認定基準と保健指導実施施設審査基準を満たしており、常勤保健師全員が人間ドック健診情報管理指導士（人間ドックアドバイザー）を取得して、地域の皆様に質の高い健診・保健指導を提供できるように努力しています。



手術・材料部

手術部は外科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科などの手術を年間約1500件行っています。手術スタッフは、患者様と接する時間は少ないですが自分たちができる最高の医療と看護を提供できるよう日々努力しています。看護師は、術前訪問を実施し手術の受け止めなど情報収集するとともに手術が与える身体への侵襲度、予備力を考えてアセスメントし術中の看護計画立案、ケア提供をしています。術後訪問も実施し、行ったケアの評価を行い看護ケアの振り返りを行っています。医師・ME、他部署スタッフとも協力してよりよい周手術期のケアが提供できるようチームで取り組んでいます。

材料部では、院内で使用する医療器材の洗浄・滅菌業務を行い、患者様へ安全な器材を提供できるよう日々努力しています。



外来

23の名診療科のほかにストーマ・フットケア・リンパ浮腫などの看護外来のほか、がん化学療法室があり、述べ230名/月の患者様が外来で化学療法を行っています。結婚・出産・育児を経験しているスタッフが多く、個々のワークライフバランスを重視したチームワークのある職場となっております。



特殊診療部

上下部内視鏡検査や内視鏡的膵胆管造影・内視鏡的止血術や小腸鏡検査などの内視鏡を使用した検査や治療（消化器科）、また、心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈形成術やペースメーカー留置など（循環器科）、手術後のドレーン留置やリザーポートの作成（外科）、気管支鏡検査やシリコン充填術など（呼吸器科）かかわる検査は多岐にわたります。数多くの診療科に関わるため、知識・技術ともに研鑽される職場です。反面、結婚・出産を経験したスタッフが多く在籍しているので、ワークライフバランスを重視しています。休憩時間は子育てのアドバイスや愚痴などを交わしながら働ける部署です。

患者総合サポートセンター

当院における地域連携の役割を果たすため、下記の4部門で構成しています。事務員3名・看護師6名・社会福祉士4名が在職していますのでカンファレンスでは、其々の視点でディスカッションが行われ、制度や疾患についての知見もひろがります。

- ◆ 前方連携 地域の病診連携と受診や検査の予約などの調整を行い、スムーズな紹介患者の受け入れを目指しています。
- ◆ 入退院支援センター 入院予定の患者様に説明やスクリーニングすることで、安心した入院生活や治療が受けられるように院内外と連携します。
- ◆ 後方連携 退院調整専任スタッフを中心に、患者様やご家族の意思を尊重し、病棟看護師、訪問看護師、医師、ケアマネージャーなど多職種で情報共有を行なっています。療養病院や緩和病棟の転院、高齢者住宅入所などの調整、または、介護サービスなど在宅療養環境を調整し、安心して退院できるよう支援しています。
- ◆ 医療相談 院内外からの医療相談や介護相談、福祉制度や経済的相談、がん相談などに対応しています。

他にも地域住民へ健康セミナーや市民公開講座など、健康維持のための情報を発信しています。





先輩看護師からのメッセージ



3年目看護師

1年目から地域包括ケア病棟に配属となり、入職して2年目看護師です。様々な疾患を持った患者様が入院しており、幅広く疾患の理解を深めることができます。入職した当時は不安でいっぱいでしたが、プリセプターを中心に先輩看護師が丁寧に教えてくださり、病棟全体の動きにも慣れ、日々楽しく看護ができています。患者様とのかかわりの中で、不安点にお応えできる正しい知識の重要さと些細なことでも気にかける姿勢が大切であることを学ぶ毎日です。これからも学びの姿勢を持ち続けて、患者様に寄り添った看護ができるよう精進していきたいです。

循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科・皮膚科の混合病棟で働いています。急性期病棟のため、日々状態が変化していく患者様に対し、患者様が何を感じているのか、今、自分に何ができるのかを考えて看護できるように意識しています。また、理想と現実の状態にギャップを感じている患者様やご家族も多いため、ACPの難しさを感じながらも不安や心の痛みに寄り添えるように日々意識しています。プライマリー看護師としてかわる中で治療や病気への思いを相談しやすい存在になり、患者様にとって少しでも病院が過ごしやすい場所になればいいなと思っています。

今年で入職して7年目になります。しかしまだまだ自分の未熟さ、力不足を感じる場面が多くあり、日々優しい先輩たちや楽しい同期、かわいい後輩たちに支えてもらいながら仕事をしています。現状に満足せず看護師として成長できるように、患者様やご家族の思いに寄り添った看護を提供できるように頑張りたいです。また、今、一緒に働いている先輩たちや入職時に支えてくれた先輩たちへの感謝の気持ちを、後輩たちやこれから入職してくる新人さんたちに伝えていきたいです。

3年目看護師



5階西病棟は外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の急性期病棟で、手術を受ける患者様が多い病棟です。患者様が緊張や不安が少ない状態で手術を受けることができ、手術後は手術前のADLに回復し、早期に退院できるよう日々、援助を行っています。退院される際に、患者様から温かい言葉をいただいたときには、頑張ったよかったなと思います。手術後の回復過程を援助できることや退院に向けた支援ができるので達成感、やりがいがいより感じられるのが急性期病棟の魅力だと感じています。

1人では不安なことや迷うこともありますが先輩方や同期に支えてもらいながら日々成長できていると思います。今後も成長していけるよう日々努力していきたいです。



12年目看護師

私はJCHO内での転勤で、札幌北辰病院に赴任し、現在4階東病棟（消化器内科・糖尿病内科・血液内科の混合病棟）で働いています。4階東病棟は雰囲気がいっぱい明るく、新しい環境に不安を抱えていた私も疎外感を感じることなく、働くことができている。その様な雰囲気のおかげでわからない事を一人で抱え込まず、スタッフの皆さんに支えられながら安心して日々の業務に臨むことができている。まだまだ知識、技術いずれも未熟ですがこの環境で学びを深め、地域医療に貢献できる看護師になれるよう日々精進していきたいと思っています。



7年目看護師



認定看護師・専門看護師



がん性疼痛看護認定看護師

がん終末期の、苦痛な症状をどうにかしてあげられないかと日々悩みながら看護を行っていました。勉強をして知識が得られれば、状況が変化するのではないかと考え、認定課程へ進学。看護を一から振り返り、新たな知識とスキルを得たことで、がん患者様と関わる不安はなくなりました。看護師だからと頑張る必要はありません、人と人として素直な気持ちで患者様と接するスキルを得ることができました。がん看護はチームの力が非常に重要です、困ったときは抱え込まずチームで乗り越える。今はそんなスキルをスタッフに伝えていきたいと活動しています。



感染管理認定看護師

私は、認定看護師研修センターでの学習の機会をいただき、2015年に認定資格を取得、兼任勤務を経て、現在専従職に就いております。院内では、医療関連感染を未然に防ぐよう取り組みながら、地域連携施設とも信頼関係の構築に努め、一緒に感染対策向上に励む毎日です。また、ICT/ASTチームとして組織横断的活動を行う中で、全職員と関わりながら感染管理に従事し、現場の皆さんに寄り添いながら問題解決ができるよう取り組んでいます。



感染管理認定看護師

2011年に感染管理認定看護師資格を取得しました。看護部感染委員会のリンクナースになったことが資格取得を目指すきっかけとなりました。リンクナースは各部署から選出され、部署の感染対策を推進する役割です。そこで、初めて部署内の感染対策について考えるようになりました。感染管理上の課題がたくさんあることに気づき、安全な医療、看護を提供するために感染管理は重要であるということがわかりました。それから、部署内、院内で活動しています。



慢性疾患看護専門看護師

看護経験が長くなるにつれ、振り返って勉強しようという気持ちが強くなったのが進学しようと思ったきっかけです。初めから専門看護師を目指そうと思って大学院に行ったわけではありませんが、学んでいく中で何か還元できることがあればと思い慢性疾患看護専門看護師を取得しようと思いました。慢性疾患を持つ患者様の多くはこんなはずじゃなかったと後悔の気持ちを持つ方や治らないこの恐怖や一生病気と付き合っていくなくてはならないというジレンマを抱えながら生活しています。その方たちに寄り添った看護ができるように日々考えています。一緒にそんな看護をしませんか？



認知症看護認定看護師

環境の変化から混乱したり、行動・心理症状がみられた時に、どのようなケアを行えばいいのかわかり、認知症看護を深く学びたいと思い、認知症看護認定看護師を目指しました。当院は、認知症加算1を取得しており、週1回認知症ケアチームでカンファレンスと回診を行っています。家族との面会が制限されている中、認知症の患者様は今置かれている状況を理解できず戸惑い不安の中にいます。認知症の患者様が、少しでも安心して過ごせるような療養環境の調整を行い、できないことばかりに目を向けるのではなく、残存機能に働きかけるケアを目指しています。



特定行為看護師

特定行為研修を受講し、透析管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与と関連の特定区分を2022年に修了しました。透析看護師としてもっと専門的な知識を深めたい、医師と協働し必要時にタイムリーに患者対応ができればいいと思ったのがきっかけです。

また、当院で働きながら取得できることにも魅力を感じ目指しました。研修で学んだ臨床推論をいかし、現場のスタッフと協力しながら活動していきたいと思っています。特定行為は21区分、38行為に分かれています。当院でも6区分の取得ができますので、一緒に頑張りませんか？

医療安全管理室



当院では医療安全対策加算1と医療安全対策地域連携加算1を取得しており、医療安全管理者専従として、院内の安全活動を実施していく役割を担っています。

主な活動内容は、医療安全指針に基づき①医療安全に

関する日常活動、アクシデント発生時の支援②医療安全委員会・部会活動として報告事例の検討及び再発防止のための活動③医療文化の醸成のため職員への安全教育などです。

医療安全の研修は、年に2回以上全職員を対象に企画しており、昨年度は全職員を対象にBLS研修を開始しました。院内ラウンドや医療安全ニュースの発行は、他職種が協働して、アイデアを出し合いながら安全を目指して活発に活動しています。



感染管理部



当院は、JCHOの基本理念に基づき、医療関連感染を未然に防ぐことを第一として取り組んでいます。感染症患者発生の際には拡大防止のため、原因の速やかな特定と科学的根拠に基づく対策の実施により制御、終息を図っています。また、職員が感染管理指針及び感染管理マニュアルにのっとった医療を患者・

利用者に提供できるよう取り組んでいます。当院は感染対策向上加算1を算定し、合同カンファレンスや感染対策のシミュレーションの開催、施設訪問など、地域連携病院との信頼関係を築きながら日々感染対策向上に努めています。院内では感染管理研修会の開催、手指消毒遵守状況をモニタリング、標準予防策の周知、院内環境ラウンドなど、多職種で構成する感染制御チームが主となり、組織横断的活動を行っています。患者・利用者・地域の方が安心して利用できる病院であるよう感染対策推進を図っています。



感染管理部ラウンド写真



育児中の看護職



育児中の
看護師・保健師の皆さんに、
仕事と育児の両立
について
話をしてもらいました。

「子育てと仕事を両立するために工夫していること」

→ 家族と職場の協力が重要です！

- 家族の協力は、保育園の送り迎えを夫や両親に依頼、子どもが病気の時は両親にお世話を依頼しています。
- 家事の時間調整は、買い物をまとめ買いする、早起きをする、子どもが朝起きる前に洗濯や夕食の準備をする、レトルト食品の利用、翌日できることは翌日でもよいと考え、完璧さをお互いに求め合わせない。
- 職場との調整は、子どもの行事は前もって休暇申請をする、病気の時は看護休暇を申請するなど協力を得ています。
- 楽しみながら子育てを心がけるでは、子どもの成長をみるのが楽しい、通園時間の子どもとの会話を楽しんでいる。
- 子どもの行事日の休暇や夏季休暇などの長期休暇で余裕をもって子育てに取り組んでいる。

「職場との関係」

→ 急な子どもの病気の時は、お休みも対応してくれます！

- 参加者全員が院内保育園か市の保育園を利用しています。子どもの発熱で急なお迎えと感染症で数日間のお休みには、職場の上司である看護師長の配慮と同僚の仕事を引き継いでくれる思いやりにとっても感謝しています。
- また、産前産後の休暇だけではなく1年間の育児休業を全員利用し、復職後は夜勤免除だけではなく育児短時間勤務も利用しながら、仕事を継続しています。そして、子どもから手が離れるころには、夜勤や委員など引き受けてさらなる看護の専門性を発揮したいと思っています。

「夫婦ともに子育てと仕事を両立する秘訣」

→ 夫の家事と育児の参加、お互いの感謝の言葉が大切！

- 夫が協力している家事や育児で多い順に、①家事全般 ②子どもの世話 ③金銭管理でした。
- 家事全般は、ごみ捨て・風呂と室内の掃除・洗濯ほか、夕食づくりが目立ちました。
- 夫に望むことは、「現状で十分に協力してもらっている」から「自分のことは自分でやってほしい」と自立を望むことや、休息をして自身の休養と子どもと遊ぶ時間の確保を期待する声がありました。
- 看護職として働き続けられるのは、育メンパパのおかげです！

育メンパパナースからのメッセージ

当院では産後パパ育休の活用など育児に参加する男性も応援してくれます。育児に参加し妻の負担を軽減するのはもちろん、生まれて間もないわが子と過ごすなかで、パパとしての自覚と責任を持つための貴重な時間となります。当院は男性スタッフも多く、今後の産後パパ育休の利用を検討しているスタッフが多くいます。

〈4階東病棟 看護師〉



サポート体制・キャリアアップ



長く働き、学び続けられるサポート体制があります。

職員宿舎「ポールスター」

病院敷地内、3階建、全室ワンルーム(1DK21.45㎡ 23戸)
月額5,400円、管理費2,000円、
退去時清掃料15,000円(入居時徴収)

<備え付け>

ガスストーブ、照明器具、小型冷蔵庫、1口コンロ、
クローゼット、ベッドフレーム(マットレスなし)、オートロック式

※入居者の駐車場はありません。



院内保育所「さくらんぼ保育園」

基本保育時間

7:30~19:30

(21:30まで延長保育有り)

対象年齢

0歳~就学前まで



JCHO研修体制

JCHO
本部

看護管理者の育成

- ・ 新任看護部長研修
- ・ 新任副看護部長研修
- ・ 認定看護管理者教育課程(ファースト・セカンド・サード)

看護師を養成する指導者の育成

- ・ 実習指導者講習会
- ・ 看護教員研修

質の高い人材を育成する
研修体制

連携しあう
育成体制



地区
開催

地域医療に貢献できる
臨床実践能力の育成

- ・ 認知症看護研修
- ・ 中堅看護師研修
- ・ 在宅療養支援研修

看護管理者の育成

- ・ 看護師長研修
- ・ 新任副看護師長研修

当院

段階的な教育体制の構築

- ・ 新人看護職員研修
- ・ 現任者研修
- ・ 看護師特定行為研修
- ・ その他OJTなど

看護実習受入実績

●基礎看護

- 北海道文教大学人間科学部看護学科
- 札幌看護医療専門学校看護学科
- 日本医療大学保健医療学部看護学科

●成人看護

- 北海道文教大学人間科学部看護学科
- 札幌看護医療専門学校看護学科
- 日本医療大学保健医療学部看護学科
- 天使大学 ○北海道科学大学

●小児看護

- 札幌医科大学保健医療学部看護学科
- 北海道文教大学人間科学部看護学科
- 札幌看護医療専門学校看護学科
- 日本医療大学保健医療学部看護学科
- 札幌保健医療大学保健医療学部看護学科

●継続統合看護

- 北海道文教大学人間科学部看護学科
- 日本医療大学保健医療学部看護学科

●養護教諭コース

- 北翔大学教育文化学部教育学科

採用実績校

●道内

- 旭川大学
- 岩見沢市立高等看護学院
- 北見医師会看護専門学校
- 勤医協札幌看護専門学校
- 駒沢看護専門学校
- 札幌医科大学
- 札幌市立大学
- 札幌保健医療大学
- 市立室蘭看護専門学院
- 滝川市立高等看護学院
- 伊達赤十字看護専門学校
- 名寄市立大学
- 日本医療大学
- 函館看護専門学校
- 函館厚生院看護専門学校
- 北海道医療大学
- 北海道医療センター附属看護学校
- 北海道看護専門学校
- 北海道文教大学
- 北海道美唄聖華高等学校
- 北海道立旭川高等看護学院
- 札幌看護医療専門学校
- 北海道医薬専門学校
- 天使大学
- 北海道立江差高等看護学院
- 三草会札幌看護専門学校
- 北海道科学大学





「病院見学会」について



多くの皆様の参加をお待ちしております。

当院の雰囲気や実際の仕事を肌で感じていただき、
今後の進路を選択する際の参考にしていただきたいと思います。

日程：随時受付 ※学年を問わず受付いたします。



お申込み・お問い合わせ先

病院見学については、
希望日、人数、代表者名と
連絡先、学校名、希望する内容をお知らせください。
詳細については、後日ご連絡いたします。

お問い合わせ先
(看護部)

病院代表電話

☎011-893-3000

看護部メールアドレス

kangobu@hokushin.jcho.go.jp



独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO札幌北辰病院

〒004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2番1号
TEL 011-893-3000 / FAX 011-893-4001
<http://hokushin.jcho.go.jp>



当院マスコットキャラクター

ピカ太郎